

NITTOSEIKO Integrated Report 2020

日東精工 統合レポート 2020

編集方針

日東精工グループは、今年度から「日東精工統合レポート2020」を発行することと致しました。

本レポートでは従来のCSRレポートに加え、日東精工グループの価値創造モデルを紹介しています。今回は初めての統合レポートの発行となりますので、持続可能な社会の実現に向けて、日東精工グループが自らの立場と責任をどのように捉え、どのような課題に取り組んでいるかを中心にお伝えする

内容となっています。来年以降につきましては、価値創造モデルに基づく活動結果を分かりやすく報告していく予定です。

本レポートは、日東精工グループからの一方的な報告書という位置づけではなく、ステークホルダーのみなさまからのご意見を頂戴し、今後の活動の参考にさせていただくコミュニケーションツールとして活用していきたいと考えています。

報告対象期間

2019年1月1日～2019年12月31日
(上記の期間以外の情報についても一部掲載しています)

報告対象範囲

日東精工株式会社および
日東精工グループ会社

発行時期

2020年4月

将来の見通しに関する注意事項

本レポートに記載されている将来の業績見通しや、計画及び戦略に関する内容は、現時点での状況に基づき判断しているものであり、経済状況や為替相場の変動などにより、異なる結果となる可能性があります。

アンケート

本レポートや日東精工グループ
に関するご感想やご意見を
お聞かせください。



日東精工株式会社

発行部署／経営企画室

お問い合わせ先／mk@nittoseiko.com

URL <https://www.nittoseiko.co.jp/>



- 用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷

原点は地域の産業振興と雇用創出

日東精工の誕生は1938年。

「誠実を基とし内外に信用を獲得し地方の発展に寄与する」ことを理念とし、地域の産業振興と雇用創出を目的として創立しました。

日東精工の前身である四方製作所は、元は小さな時計の修理屋。従業員が寄宿舎に住み、夜は材料や機械、数学、英語などを学べる学校でもありました。次第に高まるお客さまからのニーズに応えるため、地元の有志の出資により現在の

日東精工が誕生。時計修理で培った精密加工技術を生かし事業を拡大していきました。

社名の由来「日は東より」は、創業の地綾部の美しい自然の姿からとったものです。創業時の精神を今も引き継ぎ、私たちは社是「我らの信条」のもと、自然豊かなこの地で社会のため、人のために歩んでいます。



日東精工の前身、四方製作所のころ

私たちが突き動かすのは
いつも、人を想う素朴な情熱でした。

共感、
そして絆へ。



創業当時の工場と従業員



1958年本館 現在もその面影が残る



創業者と従業員

Contents

メッセージ	02
日東精工の歴史	04
日東精工グループ	06
価値創造モデル	08
マテリアリティへの取り組み 01	
お客さまとの共有マテリアリティ	
ファスナー事業	10
産機事業	12
制御事業	14
研究開発	16
トピックス	17
マテリアリティへの取り組み 02	
地方創生	18
マテリアリティへの取り組み 03	
環境共生	20
マテリアリティへの取り組み 04	
人財育成	22
財務情報	24
コーポレートガバナンス	26
会社概要	27
編集方針	28

社是 我らの信条

一、我らはよい自己をつくる

- 健康を増進し
- 品性を養い
- 知識を求め
- 技術をみがいて
- 健全な人格をつくる

二、我らはよい仕事をする

- 誠実を旨とし
- 改善を怠らず
- 親和協力して
- よい製品をつくり
- 明るい職場をつくる

三、我らはよい貢献をする

- 我らが日々の勤めに
- いそむことの出来るのも
- 社会の恩恵による
- 感謝の心を仕事に活かして
- 社会に貢献する



NITTOSEIKO

先人のあゆみに学び、 これからのスタンダードをつくること。

日東精工株式会社
代表取締役社長 **村本 正己**

2019年の振り返り

2019年度は、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission "G" (2019年～2022年)」のもと、グループの将来を見据えた設備投資を実施するとともに、新たな事業の柱として医療分野への参入を視野にメディカル新規事業準備室を設置するなど、事業領域の拡充に取り組んでまいりました。既存事業におきましては、消費税増税の影響で個人消費が一時的に落ち込みましたが、人手不足などを背景に企業の設備投資には大きな影響はなく、産機事業を中心に堅調に推移しました。

一方、海外事業におきましては、ユーザーの意欲的な設備投資により北米事業は堅調に推移しましたが、通商問題による世界経済の減速基調から、アジアを中心に前年を下回る厳しい経営環境となりました。

地球環境や社会を改善するための取り組みとしましては、環境に配慮した新製品の開発や、障がいを持たれた方々が能力を発揮できる環境づくりを目的とした特例子会社の設立などの施策を積極的に展開してまいりました。

持続可能な社会を目指して

2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、今や自治体や個々の企業に至るまでその考え方が広がっています。

日東精工は、企業理念である「我らの信条」を通じ、誠実、信頼、感謝の心をもって社会に喜ばれ貢献する企業であることを、不変の精神として諸先輩から受け継いでおります。その精神こそが、長期経営計画の経営ビジョンに掲げていますモノづくりソリューションそのものなのです。つまり製品の品質や機能性、生産現場の働き方、省エネ・省資源など、お客さまそれぞれの課題を当社が誠実な対応で解決へと導き、結果それがSDGsの達成につながり社会から信頼される—それが私たちの喜びであり原動力となります。

また、SDGsの実現には、世界中の企業が近隣の地域を愛し、持続可能な環境づくりに取り組むことが不可欠です。日東精工もこれまで同様、京都府北部の綾部の地で豊かな自然と共存しながら産業の活性化に取り組む、人づくり、まちづくりに貢献してまいります。

2020年の取り組み

2020年は、ウイルス感染拡大の影響、米中貿易摩擦や米国大統領選挙の行方など、世界経済の先行き不透明感は拭えませんが、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission "G"」の初年度の取り組みを形ある成果に導き、事業の安定と成長につなげてまいります。

特に中期経営計画の中で重点項目としていた新規事業については、現場の声を聴き、試行錯誤の中で形にする独自のソリューションスタイルで、日東精工らしい現場に寄り添う製品の開発を進めてまいります。

既存事業においては、異種金属接合技術AKROSE(アクローズ)の商品展開、パートナー企業と技術を融合した様々なコラボレーション製品の開発や拡販に注力し、事業拡大を目指してまいります。

長期経営計画 2019～2028年

VISION ビジョン

世界中で認められ、求められる
「モノづくりソリューショングループ」を目指す

中期経営計画 2019～2022年

NITTOSEIKO Mission "G"

顧客、市場のニーズにグループの総合力でより高く応える
～Group's Global Growth～

“G”とは、経営ビジョンである「モノづくりソリューショングループ」になるために目指すべき3つのキーワード「Group's Global Growth」を表し、日東精工グループ全体でそれぞれの“G”を追求していきます。

Group's
ベクトルを合わせ
互いのシナジーを追求

Global
グループの提案力と
行動力で世界へ

Growth
革新的QCDIの向上で
グループ全体の成長を



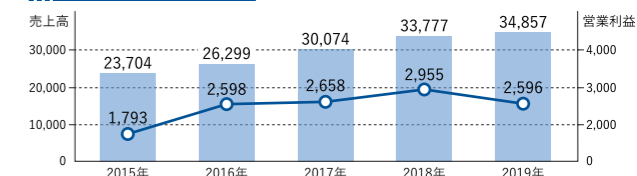
戦略テーマ

- ① **グループ**の有機的結合によるシナジーの追求
- ② **グローバル**な事業領域の開拓と拡充
- ③ **ソリューション**を武器にお客さま満足度向上への徹底実践
- ④ **モノづくり力**を高める製造力、製品開発力の徹底追求
- ⑤ **ブランド**求心力の向上と従業員の活性化

最終年度(2022年12月期)目標数値(連結)

売上高	55,000百万円
営業利益	4,705百万円(8.6%)
経常利益	4,941百万円(9.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,896百万円(5.3%)
R O E	8.8%以上

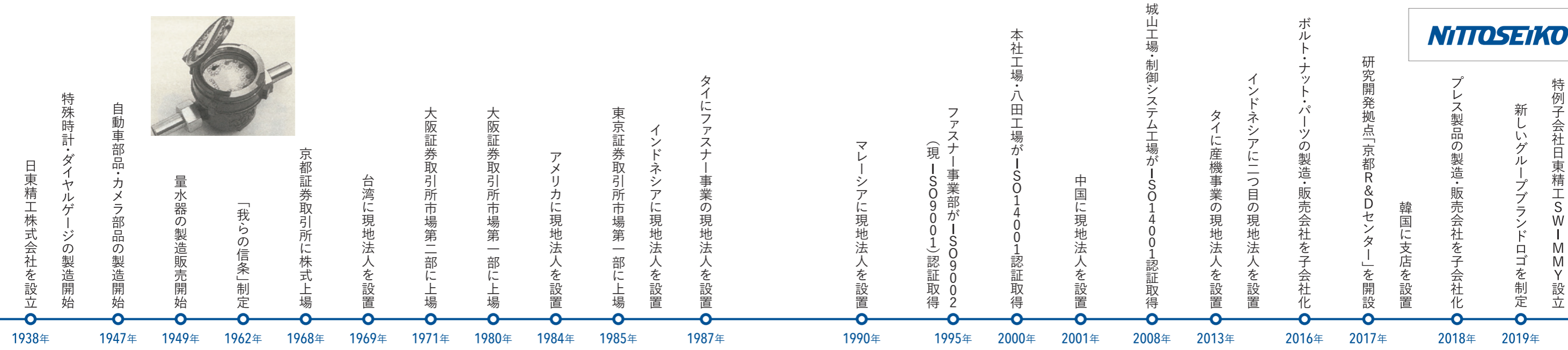
業績実績



日東精工の歴史

History

日東精工のひびく



創業～下請時代

事業基盤の確立

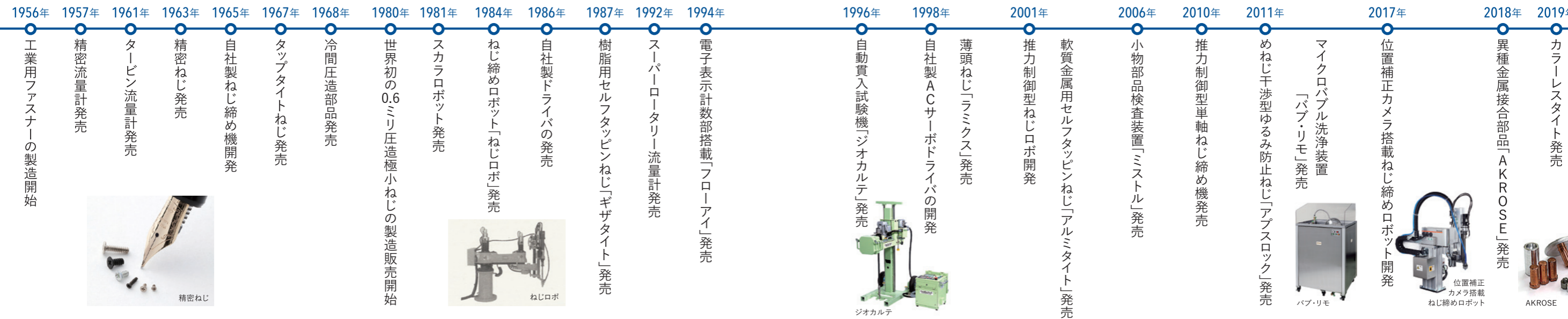
グローバルに展開

ワングループ推進

積極的事業拡大

新長期ビジョン

製品のひびく



精密ねじ

ねじロボ

ジオカルテ

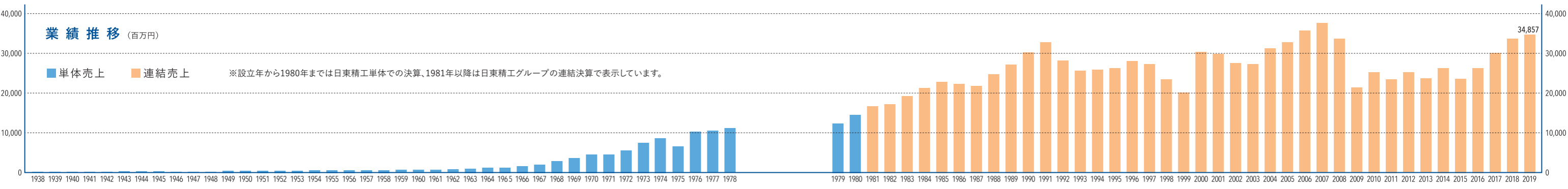
バブ・リモ

位置補正カメラ搭載ねじ締めロボット

AKROSE

業績推移 (百万円)

■ 単体売上 ■ 連結売上 ※設立年から1980年までは日東精工単体での決算、1981年以降は日東精工グループの連結決算で表示しています。



国内グループ会社

日東精工株式会社

〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20
TEL.(0773)42-3111
[事業内容]工業用ファスナー、自動組立機械、計測検査装置の製造・販売

日東公進株式会社

〒623-0003 京都府綾部市城山町1
TEL.(0773)42-0413
[事業内容]計数機・包装機、基板検査装置の設計・製造・販売及び自動組立機械の製造

和光株式会社

〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3
TEL.(0276)62-6111
[事業内容]締結部品、切削・プレス部品、ASSY品、治工具類及び自動組立機械の販売

東洋圧造株式会社

〒371-0131 群馬県前橋市鳥取町157-2
TEL.(027)269-2211
[事業内容]自動車用ボルト及び機構部品、建築用ボルト他の設計・製造・販売

日東工具販売株式会社

〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西1丁目6-4
TEL.(06)6746-9315
[事業内容]工業用ファスナー・ねじ製造用工具・ドライバビット及び自動組立機械、計測検査装置の販売

株式会社ニッセイ

〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20
TEL.(0773)42-0589
[事業内容]工業用ファスナー類の熱処理、損害保険の代理店業務

株式会社ファイ

〒623-0116 京都府綾部市下八田菩提10
[事業内容]工業用ファスナー類の検査・包装

東陽精工株式会社

〒623-0115 京都府綾部市測垣町高尾8-6
TEL.(0773)42-2854
[事業内容]冷間鍛造用金型、成形用金型、各種金型、治工具類の製作・販売

株式会社協栄製作所

〒637-0014 奈良県五條市住川町1387 テクノパーク・なら内
TEL.(0747)26-3570
[事業内容]住宅用、自動車用、建設機材用締結部品(ねじ、ボルトその他)の設計・製造・販売

株式会社伸和精工

〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8650
TEL.(0265)79-8546
[事業内容]精密プレス金型、冷間鍛造金型、各種治工具の設計製作、販売及び精密プレス部品加工

松浦屋株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7丁目-22-17-929号
TEL.(03)3494-2401
[事業内容]工業用ファスナー、工具類、自動組立機械、表面処理装置等の販売

日東精工SWIMMY株式会社

〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20
[事業内容]一般事務および軽作業受託請負業務

日東精工アナリティック株式会社

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1
TEL.(046)278-0036
[事業内容]分析関連機器の開発・製造・販売

九州日東精工株式会社

〒812-0897 福岡県福岡市博多区半道橋1丁目6-46
TEL.(092)411-1724
[事業内容]工業用ファスナー、自動組立機械、計測検査装置の販売

グローバルネットワーク

韓国 KOREA

日東精工株式会社 韓国支店
203-1206 Woolim Kaiser Palace Officetel, 332, Anaji-ro, Gyeyang-gu, Incheon
telephone / +82-70-7612-5007
[事業内容]工業用ファスナー、自動組立機械、計測検査装置の販売

中国 CHINA

日東精密螺絲工業(浙江)有限公司
中華人民共和国浙江省嘉善県惠民街道黄山路48号314100
telephone / +86-573-8475-3988
[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売、自動組立機械の販売

日東精密螺絲工業(浙江)有限公司 広州支店
中華人民共和国広東省広州市海珠区石崗路27号緑地滨江匯
[事業内容]工業用ファスナー、自動組立機械の販売

香港和光精工有限公司
ROOM B13, 801, SUNBEAM CENTRE, 27 SHING YIP STREET, KWUN TONG, KOWLOON.
telephone / +852-2203-4422
[事業内容]工業用ファスナーの販売

先端精密金属製品(深圳)有限公司
深圳市龍華区龍華街道富康社区宜徳工業廠区A棟1層
telephone / +86-755-2813-5007
[事業内容]精密プレス製品の製造・販売

伸和精工(香港)有限公司
香港九龍九龍灣臨興街21號 美羅中心第2期5樓12號室
telephone / +852-2756-5456
[事業内容]精密プレス製品の販売

松浦屋香港有限公司
香港九龍尖沙咀東部麼地道67號半島中心8樓820室
telephone / +852-2808-0945
[事業内容]工業用ファスナーの販売

台湾 TAIWAN

旭和螺絲工業股份有限公司
中華民國台湾省高雄市小港区永春街12号
telephone / +886-7-871-3198
[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売、自動組立機械の販売

ベトナム VIETNAM

WACOH VIETNAM CO., LTD
306 Pham Van Dong, Thanh Binh Ward, Hai Duong City, Hai Duong Province, Vietnam
telephone / +84-220-389-5515
[事業内容]工業用ファスナー等の販売

タイ THAILAND

NITTO SEIKO(THAILAND)CO., LTD.
84/2 Moo 9, Theparak Road, Bangpla, Bangplee, Samutprakarn 10540, Thailand
telephone / +66-2-315-4142
[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売、自動組立機械の販売

THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD.
9/158 Moo 5, Phaholyotin Road, Klong 1, Klong Luang, Patumthani 12120, Thailand
telephone / +66-2-902-0916
[事業内容]自動組立機械、計測検査装置の販売

マレーシア MALAYSIA

MALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN. BHD.
NO.3,Lorong Perak3,Kawasan Perusahaan,42500, Telok Panglima Garang,Kuala Langat,Selangor,Malaysia
telephone / +60-3-3122-7405
[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売、自動組立機械の販売

インドネシア INDONESIA

PT. NITTO ALAM INDONESIA
JI Manis II, Kawasan Industri Manis, Tangerang, Banten 15810, Indonesia
telephone / +62-21-591-8691
[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売

PT. NITTO ALAM INDONESIA BEKASI FACTORY
Delta Silicon Industrial Park Lot 7-8/9, Lippo Cikarang, Bekasi-Jawa Barat, Indonesia
telephone / +62-21-8991-5651
[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売

PT. INDONESIA NITTO SEIKO TRADING
JI Manis II, Kawasan Industri Manis, Tangerang, Banten 15810, Indonesia
telephone / +62-21-591-8691
[事業内容]工業用ファスナー、自動組立機械、計測検査装置の販売

アメリカ U.S.A.

NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION
1301 Rankin Drive, Troy, MI 48083, U.S.A.
telephone / +1-248-588-0133
[事業内容]自動組立機械、工業用ファスナー、計測検査装置の販売

NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION
テネシー支店
P.O.Box 280777, Nashville, TN 37228, U.S.A.
telephone / +1-248-588-0133
[事業内容]自動組立機械、工業用ファスナー、計測検査装置の販売

お客さまとの共感から、 持続可能な社会の実現へ。

「SDGs(持続可能な開発目標)」について

2015年9月の国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

「マテリアリティ(自社に関わる重要課題)」について

持続可能な社会の実現のために日東精工が果たすべきマテリアリティを4つに設定しました。これらは社是「我らの信条」に基づきお客さま、地域、環境、従業員との「絆」を大切にしている経営姿勢を発展させたものです。4つのマテリアリティに重点的に取り組むことで社会課題の解決につなげたいと考えます。

*01 お客さまとの共有マテリアリティ

B to Bビジネスによってお客さまのそばで直にニーズを汲み取り、日東精工の技術やノウハウから解決方法を提案します。お客さまのマテリアリティを共有し解決することで、多岐にわたる分野においてSDGsに貢献します。

*02 地方創生

創業から一貫して綾部市に本社を置く日東精工はコネクタール企業としての役割を担っており、地域の産業振興に寄与してきた自負があります。今後もこれまで以上に取引先や自治体と連携し、地方の活性化に貢献します。

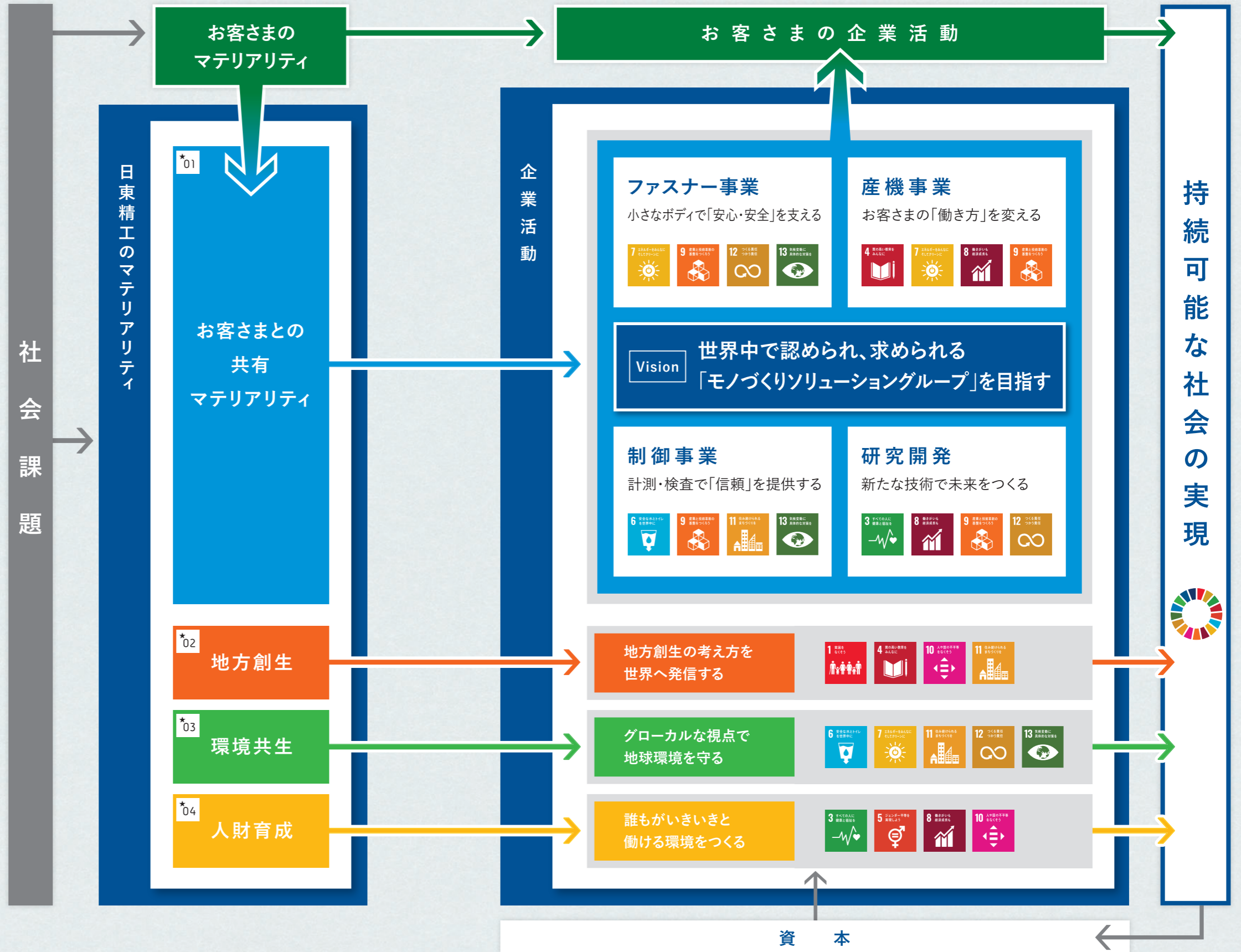
*03 環境共生

創業以来自然豊かな地域に拠点を置き、産業の発展とともに人と自然の共存共栄を学んできました。今後も地域環境や地球環境を維持し次代へつなぐため、環境保全を最優先事項の一つと位置づけ取り組みます。

*04 人財育成

今後ますます課題となる国内事業の継続、労働者不足、働き方改革に対しては、人財育成の取り組みを充実させていくことが重要です。独自の人財育成システムに加え、ダイバーシティとインクルージョンを推進することで、誰もがいきいきと働ける環境をつくります。

日東精工の価値創造モデル



小さなボディで「安心・安全」を支える

経験を重ねた圧造技術を駆使して機能的な形状を提案し、お客さまの製品の安全性や性能を高めます。



ファスナー事業部 事業部長
[執行役員]
浅井 基樹

軽量化に貢献する新技術 AKROSE (アクローズ)

「小さな部品に異なる特性を持たせたい」、「必要箇所以外ではできる限り軽い材料を使いたい」、「しかし異なる特性の材料を結合するには、更にそのための部品や形状が必要になる」、「そうすると、重量が増え燃費が悪くなり、コストも高くなってしまふ」。EV・PHV・HV等の自動車部品を開発するメーカーさまの課題でした。環境にやさしい自動車をより多くのお客さまにお届けしたい。そう願うメーカーさまの悩みに応

える技術の一つに異種金属接合があり、多くの企業がカシメや接着、溶接などの方法で対応しています。当事業部もこれを「お客さまとの共有マテリアリティ」として位置づけ、圧造で培った塑性加工技術を駆使して理想的な金属結合を追求してきました。そうして誕生した新工法がAKROSEです。接合部に隙間が発生しない理想的な金属接合技術として多くの企業から期待されています。



様々な分野へ

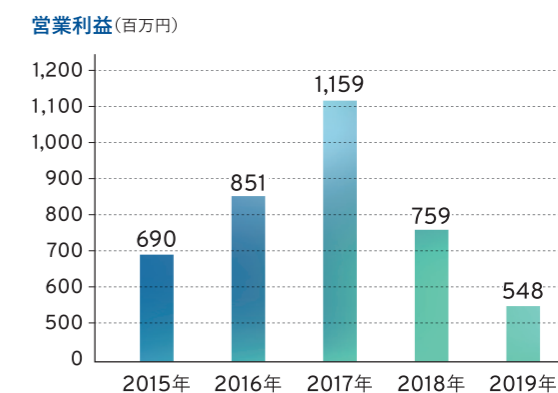
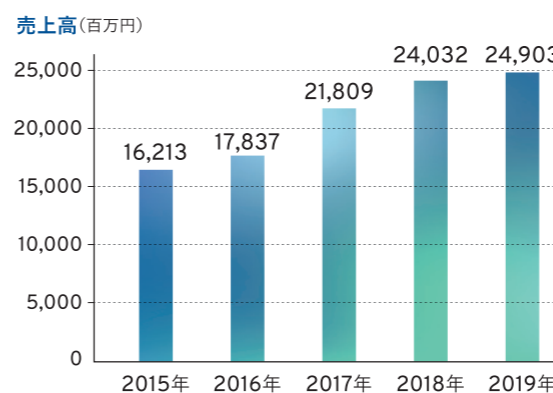
AKROSEは接合強度が高く、抜き方向だけでなく、回転方向にも接合強度を保つことができます。自動車業界だけでなく、家電や電子部品など、幅広い業界から注目されており、軽量

化、資源効率の向上など持続可能な社会の実現につながるお客さまの取り組みを支援します。

ファスナー事業のお客さまとの共有マテリアリティ

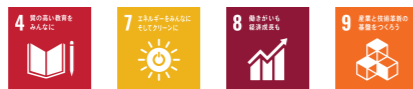
	共有マテリアリティ	私たちの企業活動	SDGsのためのお客さまへの提案
異種金属接合技術 AKROSE 	CO ₂ 排出量削減につながる自動車普及推進のための支援。	特性の異なる異種金属を強固に接合することで、多種の特性をもった軽量部品をお客さまの希望に合わせた形状で製作可能。	高容量化にともなう電気効率向上や軽量化に貢献。
カラー・インサートナット廃止セルフタッピンねじ カラーレスタイト 	CO ₂ 排出量削減、資源効率向上につながる低燃費自動車を支援。	樹脂材へのねじ締結において、従来必要であった金属のカラー部品やインサートナットを使用しないセルフタッピンねじの提供。	軽量化による燃費向上に貢献(部品点数削減による資源効率の向上)。
樹脂用ゆるみ止めねじ ギザタイト 	モビリティの電動化により、部品の変化・軽量化による部材の樹脂化支援。	温度変化や振動など過酷な環境下で強力なゆるみ止め効果を発揮するセルフタッピンねじの提供。	部品締結力の保持による、性能及び安全性への貢献。
冷間圧造部品 	切削加工品の製作上、発生する切削屑を減らしたい。	切削加工から冷間圧造への切り替えを提案することで、切削屑の発生を無くすことが可能。また、加工速度が切削加工と比べて非常に速く、コストも削減できる。	切削屑の削減による資源効率の向上及び廃棄量の削減と併せて、加工時間短縮によるCO ₂ 排出量の削減に貢献。

業績推移 (連結)



お客さまの「働き方」を変える

お客さまへのモノづくり提案で、様々な社会課題に対応できる働き方改革を実現します。



産機事業部 事業部長
[常務取締役 兼 常務執行役員]
澤井 健

モノづくり現場の進化

当事業部は、自動ねじ締め機を主力製品とした自動組立機全般の設計、製造を行っています。自動組立機に求められる機能は、安定性、正確性、敏速性であり、従来より、人的作業をいかに自動化して高品質な量産体制が構築できるかを追求してきました。消費者のニーズの多様化や製品サイクルの短縮により、モノづくりは多品種少量生産へと移行し、更に昨今においては少子高齢化による労働力不足やIoTへの対応など、幅広い課題解決への要求が高まっています。

その要求に応えるべく、当事業部では複雑で繊細な人の動

きを再現するねじ締め作業や、人との協働によるねじ締め作業を実現するため、ロボットメーカーと共同で製品開発を行っています。また、IoTを使った作業の効率化や合理的な品質管理を実現するため、ねじ締めの詳細情報を遠隔から監視できる通信機能の開発や、お客さまのニーズと環境に応じた一品一様の自動組立機の製造をしています。



様々なねじ締め情報を出力できるNXドライバ(SD600Tシリーズ)

SDGsに基づくモノづくりの追求

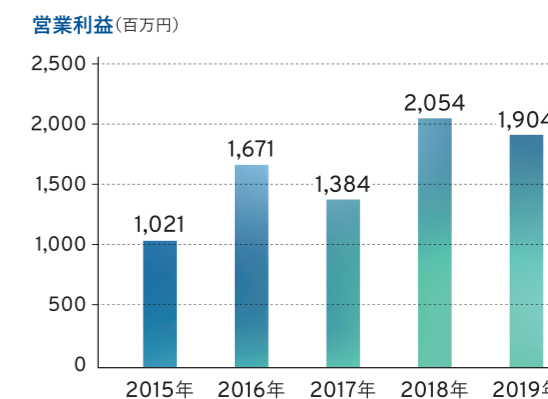
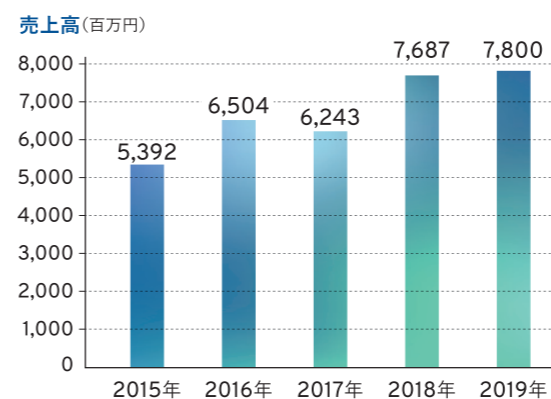
当事業部は、お客さまのモノづくり現場の課題を単なる省人化と捉えているわけではありません。お客さまのマテリアリティを共有し、ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現へと導いていくことが私たちの使命であると考えています。障がいを持った方の雇用などダイバーシティ経営を目指すお客さまへの支援、作業効率を高め、働き方改

革を推進するお客さまへの支援、教育水準が低い新興国で雇用創出に取り組むお客さまへの支援など、持続可能な社会の実現に向けたモノづくりの環境構築を目指すお客さまの課題を共有し、経験とノウハウを活かしたソリューション活動を展開しています。

産機事業のお客さまとの共有マテリアリティ

	共有マテリアリティ	私たちの企業活動	SDGsのためのお客さまへの提案
自動ねじ締め機	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全につながる省エネ。 作業負荷の軽減。 品質の向上。 	ねじ締め工程の自動化により、省エネ、作業効率向上、品質向上の生産効果が提供できる。	<ul style="list-style-type: none"> 省エネによるCO2の削減。 過重労働の削減。 不良率減少による廃棄量の削減。
自動組立機	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材への対応。 作業負荷の軽減。 新興国の雇用創出。 エネルギーの節約。 	作業負荷軽減、作業支援機能、データ集中管理、センシング機能の充実など、ニーズに応じたカスタマイズ製品を提案。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者作業支援。 過重労働の削減。 安全・安心な生産現場。 消費者への安全な製品の提供。
IoT対応ねじ締め機	<ul style="list-style-type: none"> 管理業務の効率化。 生産負荷の平準化。 グループ品質の向上。 	ねじ締めに関する詳細情報が(遠隔)監視でき、不具合時にも迅速かつ、的確な対応が可能となる。	<ul style="list-style-type: none"> 新興国での生産支援による雇用創出。 過重労働の削減。 消費者への安全な製品の提供。
安全への対応	<ul style="list-style-type: none"> グループ品質の向上。 安全性能基準への対応。 特定有害物質の使用制限。 	CE対応やRoHS対応製品を増やすことで、欧州での使用だけでなく安全・安心な製品として、より最適なものを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 有害物質の不使用。 安全・安心な生産現場。 消費者への安全な製品の提供。

業績推移 (連結)



計測・検査で「信頼」を提供する

より正確で、より高速な計測・検査を追求し、お客さまのモノづくりに信頼を提供します。



制御システム事業部 事業部長
[取締役 兼 執行役員]
山添 重博

安心を提供するジオカルテ

当事業部の製品である自動貫入試験機「ジオカルテ」は、スウェーデン式サウンディング試験（以下、SWS試験）をコンピュータ制御によって初めて自動化した試験機であり、従来の手動式試験方法から大幅な作業効率向上を図り、発売以降、快適で正確な貫入試験を実現してきました。当初はSWS試験の自動化装置として販売をしておりましたが、地震大国と呼ばれる日本の住宅により安心を提供していくために、当社のねじ締め技術を取り入れ、回転トルクによる

分析を用いたSDS（スクレイドライバースOUNDING）試験方式を開発し、より高精度に土質が調査できるようになりました。現在も更に快適にご使用いただくための作業性や機能性の向上と、住宅の安全・安心を高める高精度、高性能な計測を追求し続けています。



ジオカルテIII

安心を世界へ

日本国内の戸建住宅の地盤調査で幅広くご採用いただくようになったジオカルテですが、現在はアジアを中心に海外での導入に向けた取り組みを進めています。例えばタイでは産学連携で地盤液状化を判断するため、より正確な土質判別に向けた研究を進めています。地盤



カセサート大学にて

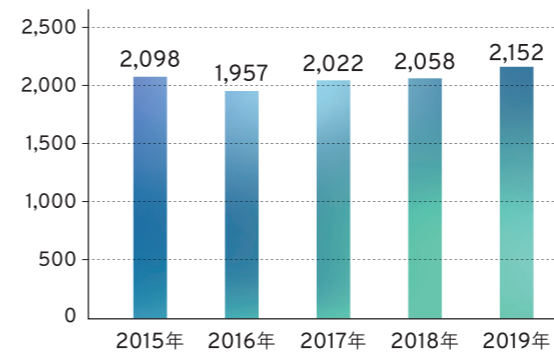
液状化が深刻な問題であるタイでは、道路や堤防などの建設前には事前調査が特に重要です。ジオカルテを使用すれば、現在行っている地盤調査作業が1/3の時間で実施できます。新興国における交通網の発展や防災対策は、産業の発展、雇用の創出には欠かせない課題です。SDGsにつながる強靱（レジリエント）なインフラ構築のために、多くの国々でジオカルテが力となることを目指していきます。

制御事業のお客さまとの共有マテリアリティ

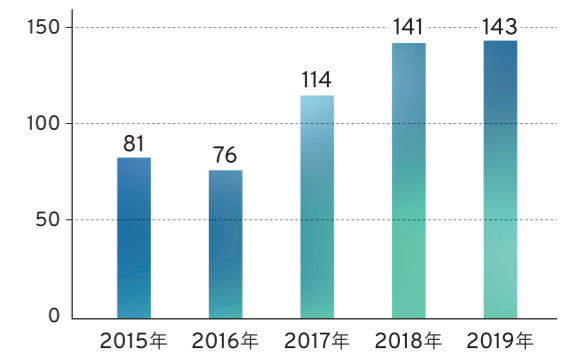
	共有マテリアリティ	私たちの企業活動	SDGsのためのお客さまへの提案
流量計 	<ul style="list-style-type: none"> 船舶に関する海洋環境保護。 地球温暖化防止。 適正な計量の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確な計量精度の維持。 環境規制燃料への対応。 流量計が廃棄されるまでのライフサイクル考慮。 	<ul style="list-style-type: none"> 排気ガスの排出量の削減。 燃費改善による温室効果ガスの削減。 廃船時の有害物質発生防止。 経済の発展と文化の向上。
マイクロバブル洗浄装置 バブ・リモ 	<ul style="list-style-type: none"> 部品洗浄の作業環境の向上。 排水リスクの軽減。 洗浄のコスト削減。 	<ul style="list-style-type: none"> 有機溶剤を使用せずマイクロバブルにより水と空気でお油分や汚れを落とす。 	<ul style="list-style-type: none"> 金属部品の切削加工後の次工程前洗浄に使用されるアルカリ洗浄液を撤廃し、作業環境の安全性とラインコストの削減。
小物部品検査装置 ミストル 	<ul style="list-style-type: none"> 目視による検査漏れ対策。 作業環境の改善。 	<ul style="list-style-type: none"> 画像センサによる小物部品の無人化運転が、高速かつ正確に実行できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査工程の作業負荷削減。 検査能力向上による安全性の向上。
自動貫入試験機 ジオカルテ 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な住宅建築。 災害に強靱なインフラ構築。 地盤調査作業の効率化。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動化による正確な調査と迅速なデータ処理。 人の肉体的負担を減らして作業効率を大幅に向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な地盤改良工事が可能。 専用ソフトで報告書作成が容易。 現場で試験結果が確認できる。
振動検査装置 キズミル 	<ul style="list-style-type: none"> 加工時に探傷を検出。 大量品の目視検査を自動化。 	<ul style="list-style-type: none"> 加工・組立時の振動を監視して、傷・破損を作業中に検知。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査工程の作業負荷削減。 加工や組立の早い段階での異常検知による廃棄部品の削減。

業績推移 (連結)

売上高(百万円)

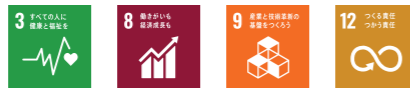


営業利益(百万円)



新たな技術で未来をつくる

幅広い分野に目を向け、夢と共に求められる社会的価値を追求します。



メディカル新規事業部 事業部長
兼 研究開発部 部長
[執行役員]

石原 雅和

既存事業の夢を追求

製品や技術の研究開発テーマには、短期的テーマと長期的テーマがあります。短期的テーマを、目標とその道筋がある程度見えているものとするれば、長期的テーマは、理想にたどり着く可能性が未知数のものと表現できます。言い換えると「夢の追求」であり、フィジビリティスタディに相当します。

当部門では、既存事業の夢の追求を一つの柱としています。例えば、ねじの締結において、締付けトルクは締結力を測る重要な要素であり、ねじ締め機には高精度なトルク制御能力が求められます。一方、ねじの締付け時間短縮は生産性の向

上に不可欠な要素です。しかしながら、この締付けトルクと締付け速度は二律背反の関係にあり、一方を優先すれば、他方を犠牲にしなければなりません。当部門では、そのようなねじ締め業界での「常識」をマテリアリティと捉え、この常識を覆す研究を行っています。日東精工の教育テキストである「我らの道」には、従業員の誰もが知っている言葉があります。「良い仕事とは同時追求し難いものを同時追求すること」、まさにこの信条に相応しい研究テーマです。

マテリアリティの共有

当部門のもう一つの柱は、既存事業の枠を超えた新たな夢の追求です。日東精工が持つ塑性加工技術やトルク制御・計測・検査技術を駆使し、これらに新たな技術も融合しながら、様々な分野における課題の解決にチャレンジしています。特に現在は、医療分野のお客さまとマテリアリティを共有し、同分野に関連した研究開発を行っています。

SDGsの一つである「すべての人に健康と福祉を」を達成できる企業になることは、私たちにとっての大きな誇りです。今後においても持続可能な社会に求められる「夢の追求」にチャレンジし続け、日東精工の新たな社会的価値を創造していきます。

トピックス

1月9日 **新製品**

鉄カラーとインサートナットを廃止可能なねじ「カラーレスタイト」を開発



1月16日 **展示会**

「第9回クルマの軽量化技術展」への出展



3月5日 **TOPICS**

京都府立工業高等学校へ「位置補正カメラ搭載ねじ締めロボット」を寄贈



1月29日 **新製品**

質量流量計「クリーンフロー」国内防爆認証を取得

2月1日 **TOPICS**

女性活躍推進が評価され、「えるぼし認定」の三つ星を取得



3月20日 **新製品**

高機能NXドライバ CEマーキング適合品に拡張

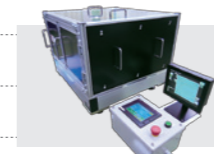
4月1日 **TOPICS**

日東精工グループのロゴマークを刷新

NITTOSEIKO

5月13日 **新製品**

超小部品専用検査選別装置ミストル (MISTOL®)Fタイプを新発売



5月22日 **展示会**

「第3回 [関西] 接着・接合 EXPO」への出展

5月31日 **展示会**

夏休み中の子ども向け展示会でねじを学べる教室を開催



7月4日 **TOPICS**

新綾部市市民センター(防災センター)の名称が「あやべ・日東精工アリーナ」に決定

7月22日 **TOPICS**

子どもたちのために約100冊の本を綾部市図書館へ寄贈



8月9日 **TOPICS**

障がい者雇用の特例子会社「日東精工SWIMMY株式会社」を設立

8月9日 **TOPICS**

グループ総合力を結集し医療分野に本格参入

10月2日 **展示会**

「第22回関西機械要素技術展」への出展

11月20日 **TOPICS**

受験生応援「ゆるみ止めねじ」プレゼント!



12月4日 **展示会**

「接着・接合 EXPO2019」への出展

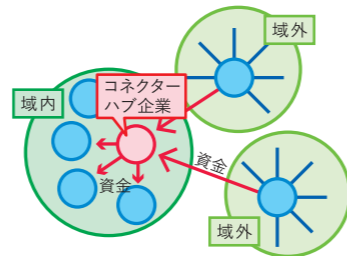
地方創生の考え方を世界へ発信する

創業から一貫して綾部に本社を置く日東精工はコネクターループ企業としての役割を担っており、地域の産業振興に寄与してきた自負があります。また、書籍の発行や地元の学校への講演などを通じて人財育成の考え方を社外へも広げています。今後もこれまで以上に取引先や自治体と連携し、企業活動はもとより書籍や社外報、テレビなどのメディア露出を通じて地方の活性化に貢献したいと考えます。



コネクターループ企業

経済産業省から「コネクターループ企業」のモデルとして評価されています。「コネクターループ企業」とは、その企業が立地している地域からより多くの仕入れを行い、取引関係のハブとなっている企業のことです。同時に、販売取引を通して地域と外部をつなげる役目も果たしています。いわば地域の中核的企業であり、かつその取引構造を通じて政策支援効果を他の企業に及ぼす影響度も高い存在であることから、国の政策ターゲットの中心になることを期待されています。



地域の教育・技術振興への貢献

地域の学校へのキャリア教育・工場見学受け入れ

地域の中学校や高校からの依頼を受けた際にキャリア教育の講師を派遣し、企業が求めている人物像や、学生時代に養うことができる力について講義をしています。また、地域の学校における工場見学の受け入れも行い、モノづくりの現場を公開しています。これらの活動によって次世代にモノづくりや働くことへの興味を呼び起こしたいと考えています。



京都府立工業高等学校へのねじ締めロボット寄贈

2019年、同じ京都府北部地域の福知山市にある京都府立工業高等学校へ「位置補正カメラ搭載ねじ締めロボット」を寄贈しました。従業員には同校の卒業生も多く、今回の寄贈が彼らの母校への恩返し、同校の研究活動の一助となることを願っています。



一般社団法人綾部工業研修所の運営

「綾部工業研修所」は1966年、京都北部の中堅技術者を育成するべく、日東精工の呼びかけで地元企業を中心となり設立されました。この研修所は地域の技術者に対して広く門戸が開かれており、これまでに1500名以上の卒業生を輩出しています。週1回で1年間、就業時間後の夜間学校として開校され、毎年20～30人が学んでいます。日東精工の従業員も生徒（ときには講師）としてこの研修所に通い、地元の仲間たちとともに研鑽を積んでいます。



地域イベントへの参加

地域の活性化のため、地域との絆を大切にするため、毎年各種イベントに多くの従業員が参加しています。あやべ水無月まつりでは若手社員を中心に「日東よさこい連」を結成し祭りを盛り上げ、翌日には地域のみなさまと会場周辺の清掃活動を行っています。他にも、新入社員の「あやべ由良川花壇展」への参加、綾部商工会議所青年部による子ども向けの職業体験イベント「あやザニア」や、綾部市民駅伝大会など、地域のイベントに積極的に参加しています。



「あやべ・日東精工 アリーナ」誕生 ～新綾部市市民センターネーミングライツ取得～

2019年、新綾部市市民センターのネーミングライツを取得しました。本施設はスポーツ、文化活動の両機能を有する複合型施設であると同時に、高齢者や障がい者にも優しい設計で、太陽光パネルの設置により環境負荷にも配慮しており、災害避難場所としての機能も持っています。本施設の運営を支援することで綾部市民のみなさまの活動を応援するとともに、綾部市の安心安全の街づくりをサポートしていきます。



受験生応援ゆるみ止めねじプレゼントキャンペーン

一般の方にねじの大切さを知っていただきたいという思いから「受験生応援ゆるみ止めねじプレゼントキャンペーン」を2014年から行っています。ねじはモノとモノをつなげるもの。ねじによってモノがつくれ、モノを介して人と人はつながります。毎年多くの方から届く喜びのコメントが私たちの励み・活力にもつながっており、近年では従業員が近隣の中学校や高校に直接持参し応援メッセージを添えてお渡ししています。



日東精工関連書籍と綾部市図書館への寄贈

日東精工の理念を広く知っていただくため、また、綾部市のPR活動に貢献するため、これまでに3冊の書籍を発行しています。これらの書籍の印税を基に毎年綾部市図書館へ子ども向けの書籍を寄贈しています。



- ①2014年『人生の「ねじ」を巻く77の教え』
- ②2017年『あやべ大好きBOOK』
- ③2019年『絆経営で目指す新しい地方創生～心のねじをキュキュッと締めるビジネスのヒント～』

グローバル地方創生

地方創生の考え方をグループ内でも共有しており、海外拠点においても地域の学校へ向けた社会貢献活動を行っています。

PT. NITTO ALAM INDONESIA(インドネシア子会社)では、従業員が小学校を訪問し、日本語や日本文化、日本の遊びなどについての学習会を行いました。チャンバラや折り紙などの遊びを実際に体験してもらいました。



NITTO SEIKO(THAILAND)CO., LTD.(タイ子会社)では労働組合と合同で小学校の子どもたちにお菓子や学用品、スポーツ用品などを寄付しています。2019年で3回目を迎えました。



グローバルな視点で地球環境を守る

日東精工が本社を置く綾部市は「森の京都」エリアであり、自然との共存およびワークライフバランスの象徴である「半農半X」が生まれたまちでもあります。創業以来その自然豊かな地域に拠点を置き、産業の発展とともに人と自然の共存共栄を学んできました。今後も地域環境や地球環境を維持し次代へつなぐため、環境保全を最優先事項の一つと位置づけ取り組みます。



環境マネジメント

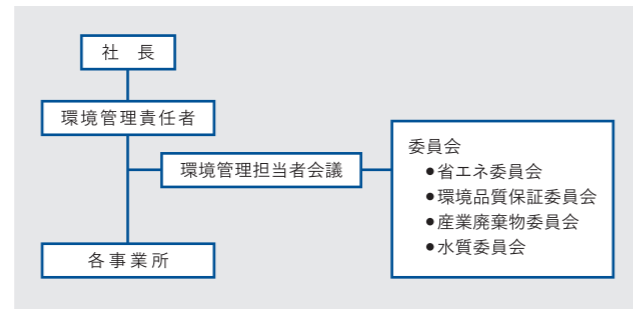
基本理念

地域社会と共存共栄を図り、環境に対しては先手を打ち、環境にやさしい、環境に負荷を与えない取り組みを実践し、社会に信頼していただける会社を築いていきます。

環境管理体制

社長以下、環境管理責任者のもと、各部門において、環境管理活動を展開しています。また全社の委員会として、環境管理担当会議、専門委員会として各推進委員会を設置し、目的の達成に向けた活動を行い、各部門で展開しています。

綾部市の4つすべての工場(本社工場、八田工場、城山工場、制御システム工場)においてISO14001を取得しており、環境管理システムを推進中です。



製品含有化学物質管理

環境品質経営責任者をトップに環境品質保証体制を確立しています。原材料や購入品の調達においては、有害物質が含有しないように受入検査を実施。製造工程では、使用する薬品や補助材料、機械装置からの汚染がない仕組みを、出荷検査は、有害物質の含有がないことを保証する仕組みを確立しています。

- 管理項目**
- 取引先との品質環境協定書の締結
 - 購入品の不使用証明書、エビデンスの入手
 - 内部環境品質監査の実施
 - トレーサビリティの管理
 - 環境品質教育の実施
 - 不適合・是正の管理
 - 法規制及びユーザ基準の遵守

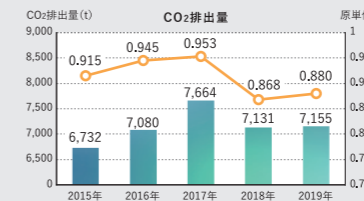
- 環境品質保証の対象物質**
- 法規制及びユーザ基準に定められた含有禁止物質は使用していません。
- ELV・RoHS指令物質
 - REACH規制対象物質
 - POPs条約物質
 - ユーザグリーン調達ガイドラインに定める物質

気候変動への対応

CO₂排出量の削減

2019年度排出目標 7,161.5t-CO₂以下 原単位目標 0.860以下

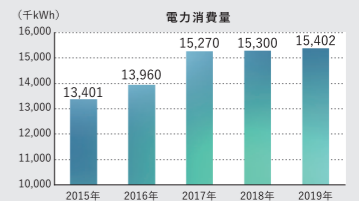
CO₂の排出量目標は達成しましたが原単位は0.02ポイント未達成となりました。



電力の削減

2019年消費目標 15,388千kWh

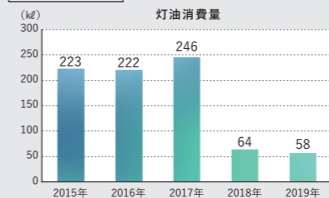
水銀灯、蛍光灯のLED化、省エネ型の設備の更新を進めましたが、夏場の電力消費が影響し、目標に対して未達成でした。今後においても、照明、生産設備の省電力化、太陽光発電設備の拡大を推進し、電力消費削減に努めます。



灯油消費量の削減

2019年消費目標 69.5kℓ

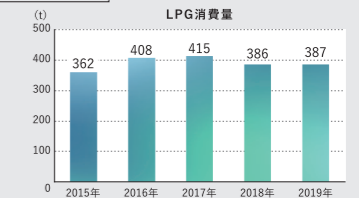
灯油暖房機から省エネタイプの空調機へ転換したことで、消費目標を達成することができました。



LPG消費量の削減

2019年消費目標 400.9t

熱処理工場での消費のウエイトが高いですが、目標を達成することができました。

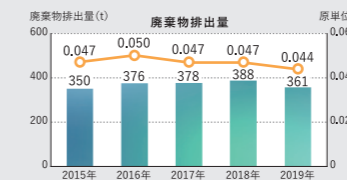


循環型社会形成のための取り組み

循環型社会形成のための取り組みとして、環境配慮型製品の積極的な利用や、分別廃棄の徹底、再生資源化とともに有価物化を推進しています。6Rの推進(Reduce, Reuse, Recycle, Refine, Repair, Refuse)、工程内及び完成品不良の削減にも取り組み、廃棄物処理費用の削減にもつなげています。

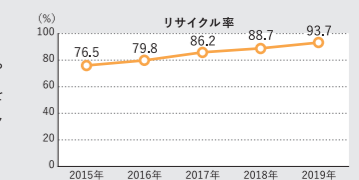
廃棄物排出量の削減

2018年比では17t減少しました。



リサイクル

廃油・廃アルカリの再生利用や有価物化の推進、分別の徹底を図っており、リサイクル率は年々上昇しています。



生物多様性の保全

モデルフォレスト活動

企業参加の森林作りを推進する(公社)京都モデルフォレスト協会の正会員として、2012年に綾部市口上林地区との森林利用保全活動に関する協定を締結して以降、年2回、京都府と綾部市と協同し、森林の間伐や雑草の除去などを行う「モデルフォレスト活動」に取り組んでいます。森林保全の現状や課題を学びながら適切な維持・管理を通して、環境保全のための取り組みを続けます。(2019年は悪天候により中止)



ビオトープ設置

生物多様性の保全を目的とし、京都工芸繊維大学の地域創生授業と連携して日東精工本社工場内にビオトープを作る計画をスタートさせました。植える植物は学生たちと周辺地域を調査し綾部の在来種で構成しました。南北にある山々の中間に位置する本社工場が野鳥が行き来する際に立ち寄る「飛び石ビオトープ」として機能し、ねじと同様、綾部の生態系を「つなぐ」存在になればとの願いを込めています。



※本ページのグラフのデータはすべて単体のものです。

誰もがいきいきと働ける環境をつくる

今後益々課題となる国内事業の継続、労働者不足、働き方改革に対しては、人財育成の取り組みを充実させていくことが重要です。日東精工には独自の人財育成システムがあり、自律的に学び仕事に取り組む人財を育てています。また、ダイバーシティとインクルージョンの推進を企業戦略ととらえ、誰もがいきいきと働ける職場を作ることこそが従業員のモチベーションアップ、多様なアイデアの創出につながると考えています。



ダイバーシティとインクルージョン

女性活躍推進

■えるぼし三つ星取得

2019年、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況が認められ、厚生労働大臣から与えられる「えるぼし認定企業」を取得しました。日東精工は、最高位にあたる「三つ星」の認定を受け、京都府内の本社が京都市内以外の企業としては初の認定となります。一人ひとりが尊重されチャレンジできる風土の醸成に今後ますます取り組んでいきます。

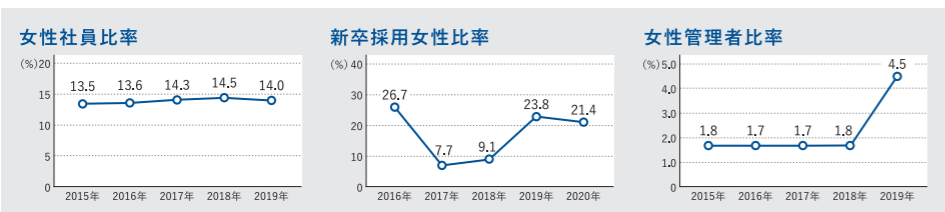
「えるぼし認定」評価項目

項目	女性	男性	男女で同程度です (直近3事業年度)
①採用 正社員採用における倍率	4.3倍	4.2倍	男女で同程度です (直近3事業年度)
②継続就業 正社員の平均勤続年数	17.9年	20.8年	男女で大きな差はありません (直近事業年度)
③労働時間等の働き方 月あたりの時間外・休日労働時間平均	正社員 9.3時間	正社員 月45時間を下回っています (直近事業年度)	月45時間を下回っています (直近事業年度)
④管理職比率 管理職(課長級以上)に占める女性の割合	女性 5.1%	産業平均1.7%を上回っています (直近事業年度)	産業平均1.7%を上回っています (直近事業年度)
⑤多様なキャリアコース (直近3事業年度)	通常の労働者への転換、派遣労働者の雇入れが1人 おおよね30歳以上の女性正社員中途採用が1人		

■くるみん休暇

男性従業員の妻が出産したときに3日取得できる特別休暇「くるみん休暇」を設けています。生まれてきた赤ちゃんと家族がゆっくりと過ごせるようにという思いだけでなく、男性がより多くの時間、育児に係わるきっかけづくりになればと考えています。本制度の導入や対象従業員への働

きかけの成果もあり、2019年には初めて男性従業員の育児取得がありました(2名)。今後も男性が育児に積極的に参画できるように促すとともに、性別に関係なく誰もが働きやすい環境を作っていきます。



先どりTOPICS

2020年2月に「くるみん認定」を受けました

特例子会社「日東精工SWIMMY」設立

2019年、障がい者の雇用と活躍できる職場づくりを目指し、特例子会社「日東精工SWIMMY株式会社」を設立しました。社名はレオ・レオ二作の絵本『スイミー』に由来し、個々の特性や能力が全体の集まりとなってより大きな力を

創造してほしいという想いを込めています。当子会社の設立により日東精工グループとして障がい者個々の特性に合わせた労働条件がより整備しやすくなり、障がい者の就業場づくりの拡大に寄与できると考えています。

健康経営

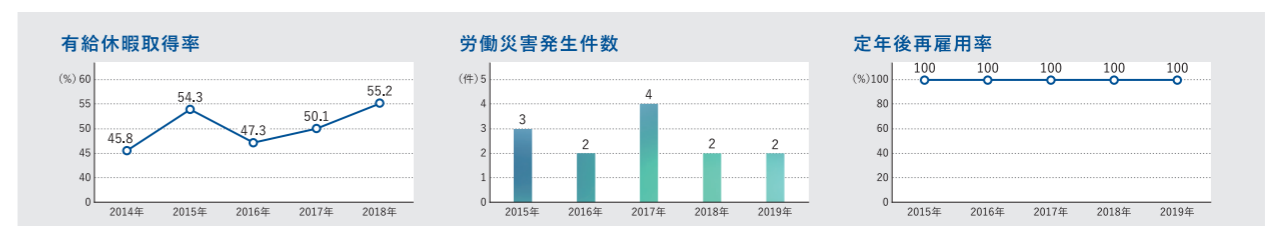
社は「我らの信条」に掲げているように「健康増進」が日東精工グループの経営基盤と考え、従業員が健康でいきいきと働くことのできる会社づくりを推進しています。2014年からは「きょうと健康づくり実践企業」にも認定されています。

先どりTOPICS

2020年3月に「健康経営優良法人」を取得しました

- メンタルヘルス対策
- 生活習慣病対策
- 時間管理の徹底とワークライフバランスの確保
- 感染症対策

健康経営推進の取り組みの一環としてライフプランセミナーを開催し、人生100年時代を健康で幸せな実りある生活にするために「健康」「キャリア」「経済」「安全」の視点から教育を実施しています。2019年には40代～シニア層に焦点を当て、「これからの資産運用セミナー」「セカンドライフを安心して送るために」という2つのセミナーを開催しました。



独自の人財育成制度

オリジナルテキスト

長年培ってきた独自の人財育成の取り組みをオリジナルの社内テキストとしてまとめており、誰もがそれをもとに従業員としてのあり方を学んでいます。テキストは4種あり、2014年には一般の方向けにこれらをまとめた書籍『人生の「ねじ」を巻く77の教え』も発行しました。(P19参照)

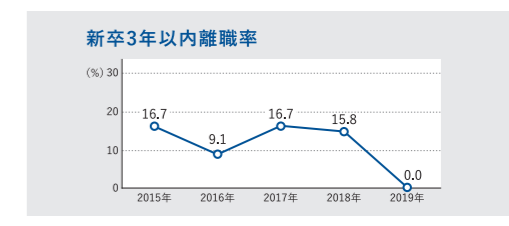


教育単位制度

能力開発推進を目的とした「教育単位制度」を設け、社内外の研修会・セミナー、通信教育、QC活動、改善提案、資格の取得などにより一人年間20単位以上取得することを義務付けています。毎年従業員に「全社教育計画」を提示し、キャリア、能力に応じた各種プログラムを用意しており、従業員一人ひとりが自律的にキャリアを考え、個人に必要なスキル、能力、知識を醸成することができるような機会を提供しています。

チャレンジシート

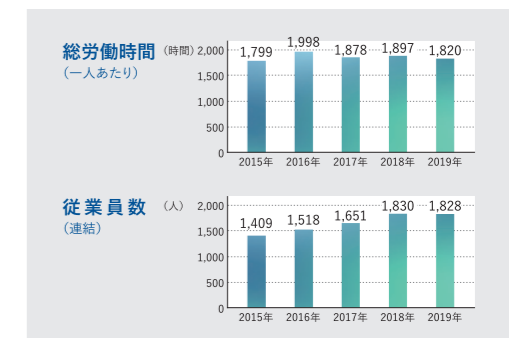
半期ごとに個人の目標を設定する「チャレンジシート」制度を導入しています。各自が業務における目標、能力開発目標を定め、半年間その目標に向かって業務にあたります。最終的な評価は自己評価と上司の評価により決まりますが、単純に「達成度が高い=良い」というわけではなく、設定した目標の難易度も考慮されます。チャレンジする従業員を応援する企業風土が反映された制度です。



次世代育成支援第4次行動計画書

- 計画期間 2020年1月1日～2022年12月31日までの3年間
- 内容 目標① 男性の育児休業の取得割合13%以上にするための促進の措置
- 2020年2月/配偶者が出産した男性労働者への制度の周知
 - 2021年4月/固定的な性別役割分担の意識改革につながる管理監督者研修の実施
- 目標② 女性従業員のキャリア継続支援に関する取り組みの実施
- 2020年4月/育児休業中社員の能力開発の実施
- 目標③ 多様な働き方に関わる制度の導入
- 2020年4月/キャリアコンサルティングの導入
 - 2022年4月/テレワークの導入

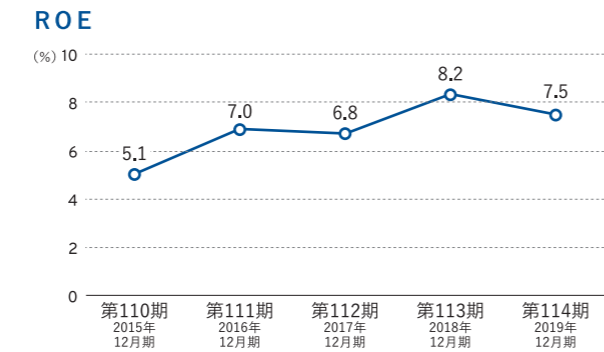
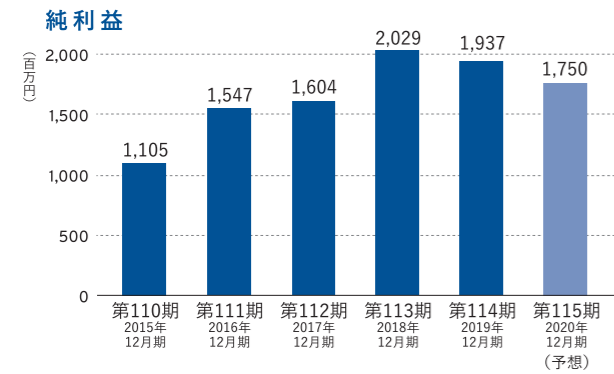
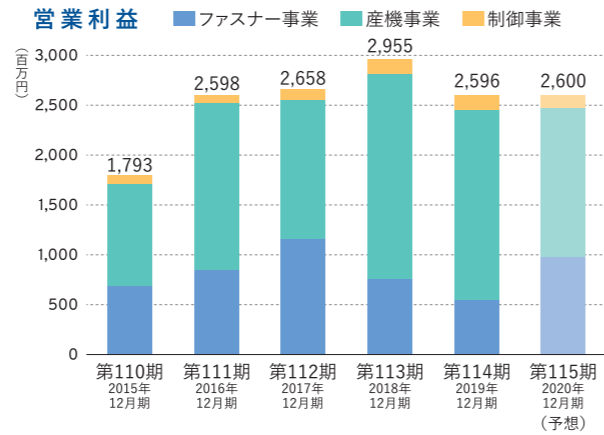
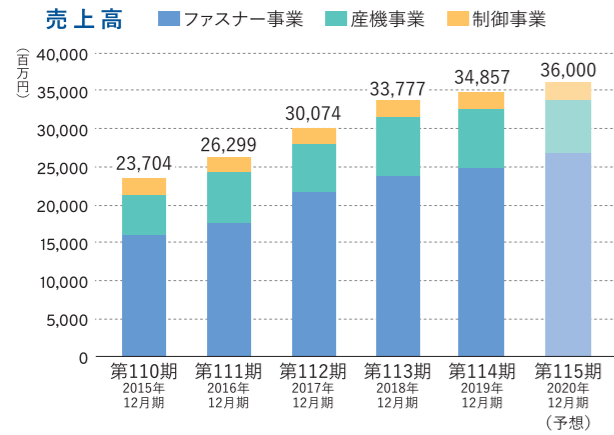
その他の人事データ



※本ページのグラフのデータはすべて単体のものです。

※本ページのグラフのデータはすべて単体のものです。

業績ハイライト



財務諸表

貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	前会計年度末 (2018.12/31現在)	当会計年度末 (2019.12/31現在)
資産の部		
流動資産	27,177	28,726
固定資産	16,176	17,263
有形固定資産	11,805	12,799
無形固定資産	250	234
投資その他の資産	4,121	4,229
資産合計	43,353	45,989
負債の部		
流動負債	11,963	12,074
固定負債	3,716	4,313
負債合計	15,679	16,388
純資産の部		
株主資本	25,835	27,042
その他の包括利益累計額	△614	△413
非支配株主持分	2,453	2,971
純資産合計	27,674	29,600
負債純資産合計	43,353	45,989

損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前会計年度末 (2018.12/31現在)	当会計年度末 (2019.12/31現在)
売上高	33,777	34,857
売上原価	25,206	26,379
売上総利益	8,571	8,477
販売費及び一般管理費	5,615	5,880
営業利益	2,955	2,596
営業外収益	426	404
営業外費用	184	147
経常利益	3,196	2,853
特別利益	145	204
特別損失	17	87
税金等調整前当期純利益	3,324	2,971
法人税等	1,038	875
当期純利益	2,285	2,095
非支配株主に帰属する当期純利益	256	158
親会社株主に帰属する当期純利益	2,029	1,937

キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

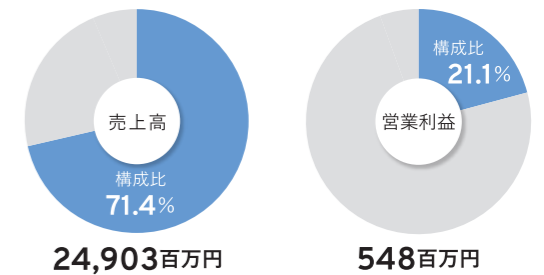
科目	前会計年度末 (2018.12/31現在)	当会計年度末 (2019.12/31現在)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,128	2,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,527	476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,093	△665
現金及び現金同等物に係る換算差額	△309	△18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	198	2,426
現金及び現金同等物の期首残高	5,857	6,055
現金及び現金同等物の期末残高	6,055	9,012

セグメント情報 (2019年12月期)

ファスナー事業

概況 主力の精密ねじは、ゲーム機向けの需要が後半増加に転じましたが、カメラ業界の長期低迷とアジア圏における市場環境の悪化を背景に、収益環境は極めて厳しい状況となりました。一般ねじは、主な需要先である自動車関連業界において堅調に推移しました。

主な取り組み 各種展示会を利用し、異なる金属同士を強固に密着させる「AKROSE」や自動車の軽量化ならびに製造コストの削減に貢献する樹脂用セルフタッピングねじ「カラーレスタイト」の販売促進に取り組みました。併せて、中国の華南地区における販売拠点の設立や市場の拡大が見込まれるリチウム電池市場を見据えた設備投資など、製造販売体制の強化を図りました。

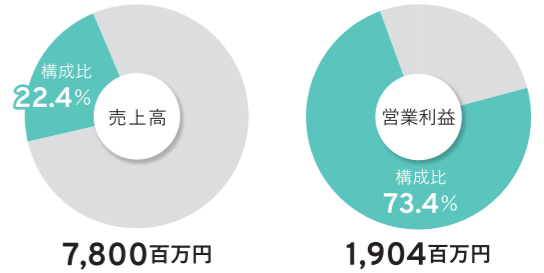


主な製品 精密ねじ、セルフタッピングねじ、ゆるみ止めねじ、特殊冷間圧造部品、複合部品、異種金属接合部品、ねじ製造用工具、建築用ボルト、精密プレス部品

産機事業

概況 標準機は、中国の景気減速を背景にFA機器メーカーの設備需要が低調となるものの、国内や北米・韓国を中心とした自動車関連設備や国内における省人化対応設備の需要は堅調に推移しました。一方、自動組立ラインは、国内における自動車のモデルチェンジ時期の狭間により低調となりました。

主な取り組み 自動車の駆動系部品に多用されるボルトの締結に適した「NX500T3」の市場への投入や、自動車関連業界を中心に評価が高い「SD600Tコントローラシリーズ」にEU地域共通の安全基準「CEマーキング」を適合させるなど、高機能型ドライバの需要の拡大に努めました。

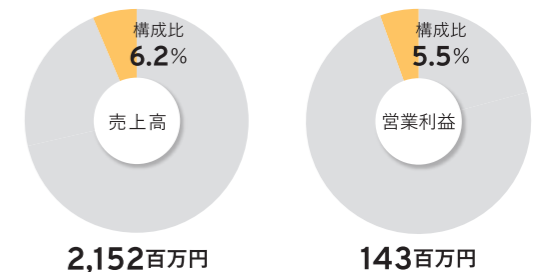


主な製品 ACサーボねじ締めドライバ、ねじ締め機、ねじ締めロボット、ねじ締め供給機、リベットかしめ機、自動組立機

制御事業

概況 流量計は、米中間の通商問題の影響を受け中国や韓国において造船業界を中心に需要が減少しました。システム製品は、人手不足を背景に部品検査装置の需要が自動車関連業界を中心に増加しました。地盤調査機「ジオカルテ」は、東京オリンピック・パラリンピック関連の需要が増加し、収益環境は好調に推移しました。

主な取り組み 超小物部品専用の検査選別装置「ミストルFタイプ」の市場投入や、質量流量計において国内の防爆エリアでの使用を可能にする認証を取得するなど、新たな需要喚起に努めました。また、海外での事業の拡大を目指し、軟弱地盤の多いタイにおいて地盤調査機「ジオカルテ」に関する産学協力を強化しました。



主な製品 流量計、計装システム、検査選別装置、マイクロバブル洗浄装置、地盤調査機

報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入り得る、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

製品別に事業部門を置く組織形態をとっており、各事業部門は取り扱う製品について戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、日東精工グループは、事業部門を基礎とした製品別のセグメントから構成

成されており、「ファスナー」、「産機」及び「制御」の3つを報告セグメントとしております。セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

1. 基本的な考え方

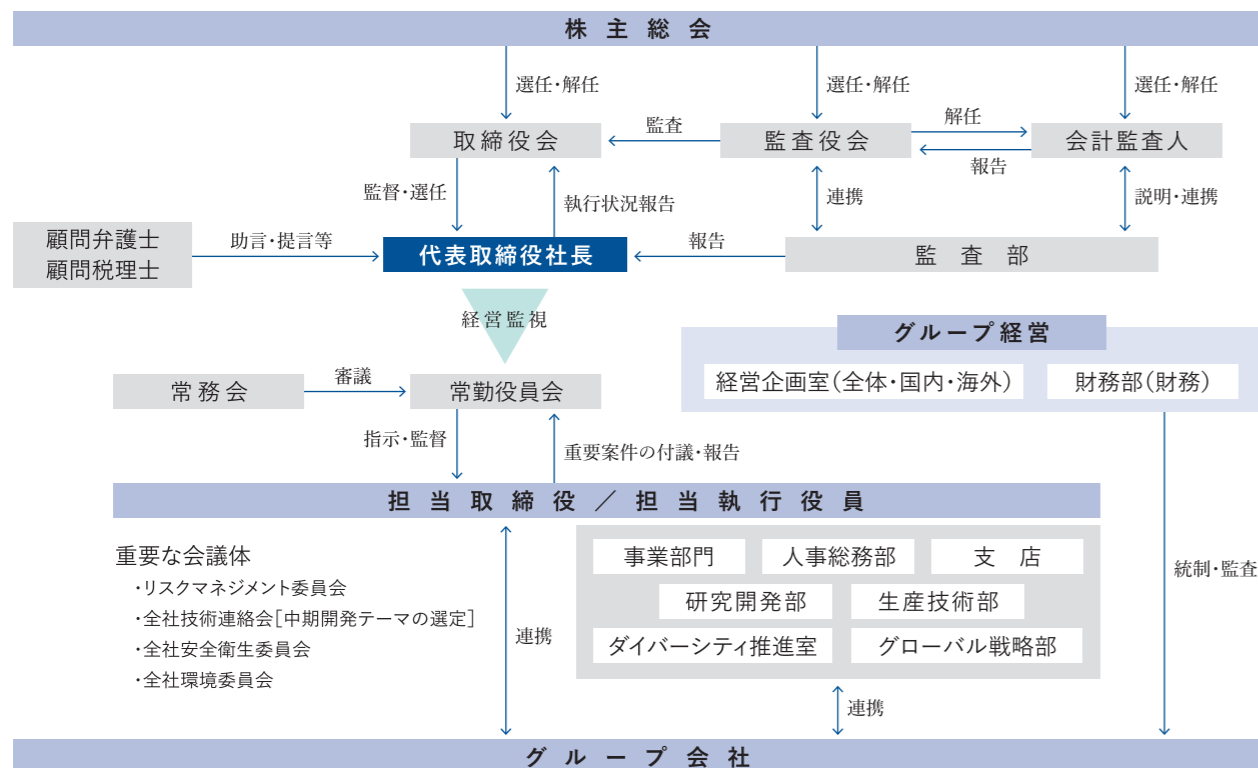
効率的で健全な企業経営にはコンプライアンスが不可欠であると認識し、企業活動の基本指針として制定した「企業倫理綱領」に基づいた行動実践に努めています。2017年2月に「内部統制システムの整備に関する基本方針」の一部を改定

し、内部統制システムの整備、拡充に取り組んでいます。また、財務情報等を適正に作成し、適時に開示する内部統制システムの構築・運用が重要であると認識しており、そのための社内体制の一層の充実に努めています。

2. 役員について

日東精工は監査役会設置会社であり、監査役会は3名（うち社外監査役2名）で組織し、原則として毎月1回その他必要に応じて、取締役会に先立ち開催しています。取締役会は社外取締役3名を含む9名の取締役で構成しています。また、迅速な意思決定および業務執行体制の強化を図るべく、執行役員制度を導入しており、取締役兼務者5名を含む執行役員8名を選任し、取締役および執行役員の任期は1年と定めています。取締役会は原則として毎月1回開催しており、法令および定款に定めるものの他、経営に関する重要な事項を決議してい

ます。それ以外の事項については業務執行取締役が決裁権限を委譲して、意思決定のスピードアップを図っており、取締役会において業務執行取締役の業務執行の状況を監督しています。これと併せて、常勤の取締役および執行役員によって構成される常勤役員会を月に2回開催、代表取締役、役員取締役によって構成される常務会を月に1回開催し、業務執行に関する重要事項の審議を行い、意思決定の迅速化を図っています。



会社概要 (2019年12月31日現在)

社名 日東精工株式会社 (NITTOSEIKO CO., LTD)
 本社所在地 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20
 設立年月日 1938年2月25日
 資本金 3,522,580,100円
 従業員数 連結:1,828名 単体:545名
 主な事業内容 ・各種工業用ファスナーの製造販売
 ・各種自動組立機の製造販売
 ・各種流量計および検査装置の製造販売

国内の事業所

本社 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 電話(0773)42-3111
 東京支店 神奈川県横浜市港北区綱島東6-2-21 電話(045)545-3313
 大阪支店 大阪府東大阪市本庄西1-6-4 電話(06)6745-8357
 名古屋支店 愛知県名古屋市中区上社5-405 電話(052)709-5061
 北関東営業所 群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3 電話(0276)63-8158
 広島営業所 広島県広島市東区光町1-12-20 2階 電話(082)207-0622
 九州出張所 福岡県福岡市博多区半道橋1-6-46 電話(092)411-1724

取締役、監査役および執行役員 (2020年3月30日現在)

代表取締役社長 材木 正己	取締役 執行役員 支店管理部門担当兼東京支店長 上嶋 伸宏	執行役員 ファスナー事業部事業部長 浅井 基樹
常務取締役 常務執行役員 産機事業部事業部長 澤井 健	取締役 執行役員 制御システム事業部事業部長兼生産技術部門担当 山添 重博	執行役員 メディカル新規事業部事業部長兼研究開発部長 石原 雅和
常務取締役 常務執行役員 経営管理部門 (経営企画室・グローバル戦略部・人事総務部・ダイバーシティ推進室)担当 荒賀 誠	取締役 執行役員 財務部門担当兼監査部門担当 松本 真一	執行役員 グローバル戦略部長兼産機事業部海外販売部長 小雲 康弘
	取締役 塩見 満	監査役(常勤) 大塚 芳邦
	取締役 平尾 一之	監査役 溝口 克彦
	取締役 勝見 九重	監査役 多賀野 博一

株式の状況 (2019年12月31日現在)

発行可能株式総数	98,800,000株	
発行済株式の総数	39,985,017株	
株主数	4,046名	
大株主		
株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,252株	8.74%
日東精工協友会	2,961株	7.96%
グンゼ株式会社	1,984株	5.33%
株式会社京都銀行	1,875株	5.04%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,873株	5.03%
神鋼商事株式会社	1,499株	4.03%
三井住友信託銀行株式会社	1,485株	3.99%
株式会社三菱UFJ銀行	1,347株	3.62%
日東精工従業員持株会	733株	1.97%
日本生命保険相互会社	619株	1.66%

※持株数の千株未満は切り捨てております。
 ※自己株式2,801千株を除いて計算しております。

所有者別株主分布状況 (2019年12月31日現在)

